



二月となりますが、まだしんと冷え込む寒い冬が続いています。黒い雲を見て、気持ちが悪く沈み込んだり、出掛けるのも億劫になったりしていませんか。寒い朝は布団からサッと出られないという人もいます。ではないでしょうか。

今は夜になっても、風間と変わらないほど明るくなる照明器具があり

ますが、そのような便利な物のない時代の人々は、太陽が出ている間に仕事をしていました。冬は特に日が短いので、日の出から忙しくしていたそうです。

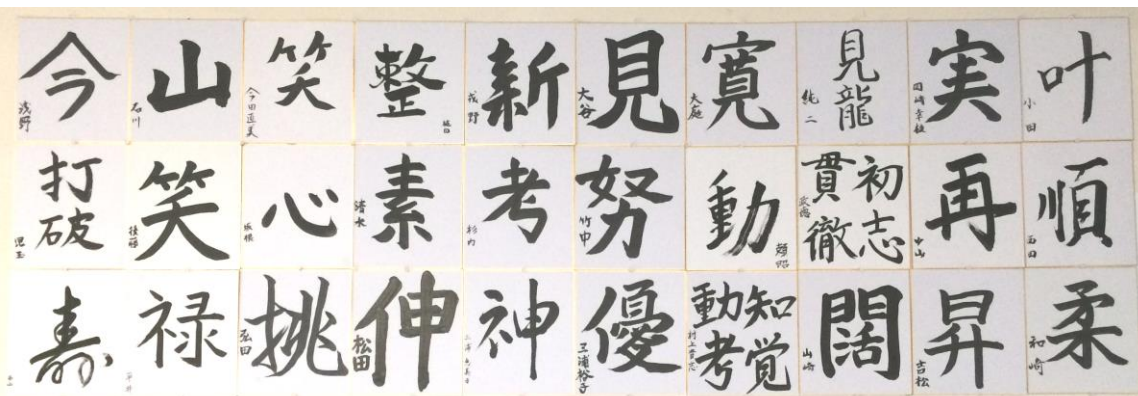
清少納言は『枕草子』に「冬はつとめて「冬は早朝が良い」と書いています。凍える寒さの朝に、急いでおこした炭火を各部屋に置きに行く忙しそ

うな人々の姿を見ながら、冴え引き締まった空気と、その中で生まれる活力に、冬の良さを感じていたのではないのでしょうか。私たちも、寒さで縮こまっているばかりではなく、心と体を大きく動かして、元気に過ごしたいものですね。

イギリスの詩人シエリーの『西風に寄せる歌』に「冬来たりなば春遠からじ」とあります。寒く厳しい冬が来たならば、暖かい春は遠くないというその言葉にあるように、春はもう隣の季節です。春はまだかな、まだかなと春待ち顔で過ごすのも良いですが、行事や景色などの冬の今だからこそある楽しみを積極的に探してみると、より充実した毎日が送れるかも知れませんね。



新年の抱負 2017年



今年も、全社員による「新年の抱負」の書初めを行いました。新年会の席で、各自が作品を披露し、今年一年の抱負を発表しました。新年の抱負を元に、皆さまに良い仕事をご提供できるよう頑張ります。



必要とされる人へ、必要とされる会社へ



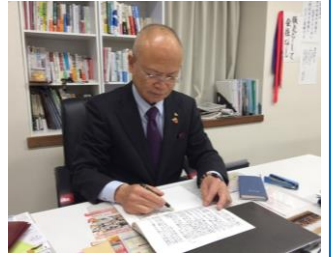
社長のつづき



昨年十月から島根県倫理法人会が主催する第十一回百日実践トライアルで、『万人幸福の栞』を毎日一ヶ条ずつノートに書き写す」を実践している時に、アマゾンで本を検索していたら『強運を呼び込む四七の習慣』（PHP発行、佐藤伝著）と『運命を引き寄せる朝の習慣』（中経文庫発行、佐藤伝著）を見つけ購読した。

私は会社の業務や、ノートへの書き写しにはボールペンを使用しているが、この『強運を呼び込む四七の習慣』には「手に負担がかかる筆記用具ほど思考を鈍らせ、運を滞らせる」といえます。「普段と書き味が違う筆記用具を使うと、新鮮なものの方が見方ができるようになり、自分を活性化できます。」とあったので、即万年筆を購入し万年筆で書き写しを行うようにした。

『万人幸福の栞』を一ヶ条書き写すのに平均四十五分程度を要するが、ボールペンで書くとき結構肩が凝っていたが、万年筆で書き始めたら紙との摩擦を感じることなく手に



負担もなくすらすらと滑らかに書けるようになった。

一月八日で百日実践も目標達成したが百日なので十七ヶ条のうち二ヶ条書き残ったのでついだと思いついて二日延長して書き写した。そして倫理法人会へ報告をしようと思った時に今回の百日実践は十月二日からだったので終わりは一月十日だと気づき、二日間延長したから達成できたのだと冷や汗を流した。なんでも中途半端に物事を終えないで完結することが大切だと改めて思った。反省と学びを深めるために三冊目のノートがなくなるまで暇な時に書き写すことにした。

私は、倫理で学んだ目が覚めたら起きる『朝起き』を実践している。朝起きると水素水を飲み、目薬をいれ、人生の目標や理想の自分像、成功した人の言葉を朗読した後には本を読んだりしているが、これはメジャーリーグで活躍されているイチロー選手にならったもので、いつも同じ順番で物ごとをする大切さを学んでからだ。

今回購読した「幸運を引き寄せる朝の習慣」にも「ルーティーンをつくることによって良い結果がでる」とあった。そして「朝、夢を口にすると、実現する」「目薬を差す」など五十九項目があり何個かは実践していることと同一のものであったが、まだまだ朝の過ごし方が甘い、もっとこの本に書かれていることを実践しようと思っている。

この本に『「三隅の水」』（島根県などの波動の数値の高い水を、体内に朝いちで取り込む習慣のある人と、何も飲まずに一日を始める人との差が出てきます。人間の体の七割は水です。地球の七十%も水。これは偶然の一致ではありません。わたしたち人間が、みずみずしい感性を持つて、いきいき元気に生活していくために、朝の水は命の水だと心得ましょう。』とあった。しっかりと水を飲みましょう。

なくてはならない水だから
安心安全な水をいつもそばに



わが社のほっとニュース



新年会で気持ち新たにスタート

タイピックの一年の始まりは、朝一番に津和野太誠谷稲成神社にお参りし、午後から会議と木鶏会、そして、夕方から新年会を行います。タイピックの社員は、OA事業部、印刷事業部、パソコン教室それぞれ部署は違っても、社員同士の仲が良く、家族のように支えあう温かい会社です。

新年会で気持ち新たに、今年も一年、お客様に感動を与え、幸せを提供できる会社を目指していきたいと思えます。



誕生日の決意

システム課

山崎 鈴枝

タイピックに入社して26年目に入り、インストラクターとして多くのお客様と素敵な縁を頂き、とても貴重な体験をたくさんさせて頂いております。昨年、還暦を迎えても、この仕事を続けさせていただけることに本当に感謝しております。



パソコンだけでなく、何か、皆様により質の高いサービスをご提供できるものはないかと思っております。

「ドリームマップ」と「ハッピートーク」に出会いました。毎日を前向きに、そして、プラス思考・行動・習慣へと導く2つの研修の講師

システム課

村上 貴志

一年がごとく早く、私もこの2月で39歳になります。毎年、一年間何をしていたかを振り返ってみても、反省することが多いなと感じています。



最近、様々な会に入ってはいます。が、このところあまり出席も出来ていなくて反省しています。この誕生日を機に新たな気持ちで一年間過ごしていきたいと思います。

今年の漢字は「知・覚・動・考」です。まずは人として成長するためには知ることが大事で、知るためには本を読んだり、講演会などで話を聞いたりと自分に足りないものを色々な形で勉強し、その得たことを覚え

資格を取得し、現在、市内の小学校の子とも達や、様々な企業さんでセミナーをさせていただいております。研修を受けて頂いた皆さんの研修後のお顔は、どの方も素敵な笑顔を見せて下さいます。

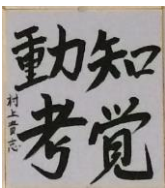
パソコンの技術だけでなく、私自身の人間力の向上にもつながる「ドリームマップ」と「ハッピートーク」の事で困ったら山崎に言えば大丈夫」と信頼をいただけるように、そして、様々な年齢層の方に「笑顔」と「ハッピー」をお届けしていきたいと思っております。



ることをしていきたいと思っております。

一度ではなく何度も読み返したりしながら、自分のものになるようにし、ためるだけではなく、しっかりと動くことも行いアウトプットし、また次を考えてというサイクルを意識しながら日々を送りたいと思っております。

何もなかったら意味がないのでも「か・く・こ・こう」一年一年少しずつでも成長し、木の年輪みたいに年をとるにつれて成長した自分になれるようにしていきたいと思っております。
サン・キュー (39)



宇治教室

西山 薫

宇治教室にお世話になり、半年が過ぎようとしています。少し慣れてきた頃に



失敗が発生する事を、以前の職場でも経験していますので、こちらでも一度気を引き締めて、初心に戻りたいと思います。

泥棒に盗まれない物を身につけなくてはいけない、親にそう教えられたとある番組でタレントの人がコメントしていたのを聞いて、なるほどと感じました。自分に何が必要か見極めて、吸収できる様に努力する事が大事だと考えさせられました。

年を重ねると同じ位、そういう

宇治教室

平井 明子



昨年より宇治教室でインストラクターとして勤めさせてから頂いてから初めての誕生日を迎えます。

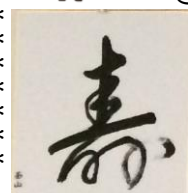
子育てもやっと落ち着き自分の時間を楽しむ余裕ができた時に、こういった縁に恵まれました。勤め始めてからは、多くの生徒さんに接して益々、人との縁を紡ぐ日々です。パソコンの勉強は勿論、お茶の休憩時間にも学ぶ事が多くありとても充実した毎日です。

誕生日の決意と言った大袈裟なものではありませんが、この数年はゆったりとした気持ちで日々を丁寧に

「見えない物」が増えれば良いのですが、思いとは裏腹に吸収力は年々落ちていきます。

宇治教室に来られる生徒さん達は、遅くも会話していても目が輝いており、私自身、生徒さんからたくさんパワーをいつもいただいくことで、新たな気づきや新鮮な体験をさせて頂く毎日です。

私も、生徒の皆様にも少しでもお返しができるよう、元気の源になる宇治教室を微力ながらお手伝いさせていただきます。励んでいきます。



過ごす事を心がけています。見たもの感動したもの、何事にも興味を持ち、あれもこれもと欲張ってやってみたくなるのですが、欲張りすぎて忙しくなり、そうなる足元が浮ついてきます。そのことを心において、息を深く吸って、ゆっくりとした歩みで過ごすことをモットーにしたいと思っております。



ゆっくりやさしいパソコン教室

宇治教室 中山 貴志

一月九日(月)宇治教室では「新年会を行ないました。毎回イベントごとでは天気に恵まれず、雨が降りそうで降らないといった感じなのですが、今回も予想通りの空模様。傘を持参しての参加となりました。

今年の会場は宇治で知らない人はいない！歴史と由緒を誇る割烹旅館「花やしき浮舟園」。その歴史は明治からで、なんでも画家・竹久夢二も訪れ、当時のおかみさんを描いたとか。

今回は、その別館にあたる和食処「茶鬼里(ちまのり)」を参加者20名で貸し切りさせていただき、宇治川の風景を独り占め♪なんとも贅沢です。



あまりに広い店内過ぎて、逆に、離れた席の方とお喋りが遠い部分もありましたが、他のお客さんがいないリラックとした空間での美味しい食事に皆さん満足されました。

こうやって日頃の十分間の休憩では喋りつくせない事もお話できて、受講される時間帯が違う方々と交流ができるのもイベントの楽しみのひとつです。

次回は春、桜の時期にまた集まって食事会をしたいですね。次回こそ天候に恵まれ、外で桜を見ながらの楽しいイベントにしたいと思っています。



「ありがとう」

廿日市教室 今田 直美

笑い文字講座

笑い文字とは？筆ペンで「ありがとう」の文字に笑った顔が入った文字の事です。絵が苦手なんです、字が苦手なんです…大丈夫です、笑い文字は関係ないんです！

最初、筆ペンで書く事に苦戦していた皆さんですが、どんどん素敵な笑顔になっていき、最後には皆さんは笑顔いっぱいでした。文字の中の笑った顔はみなそれぞれ微妙に違い、すごく可愛く書かれています！☆

約二時間と短い時間でしたが、あちこちで「わく、かわいいく」「うまく書けるとね〜」「などの言葉が飛び交っていました。

「書いて半分、渡して完成」書いて終わりではない笑い文字、この講座を受けた男性生徒さんは、早速奥さんに渡されたそうです。ステキ♪普段は奥さんにありがとう



の感謝の気持ちで恥ずかしくて言えないですよ。でもこの文字を書いて感謝の気持ちを伝えることができたことに嬉しく思います。そして私も後日、受講された生徒さんからありがとうの文字をいただき、私も大変嬉しく温かい気持ちになりました。ありがとうの笑い文字を書いて、相手に渡すこともあった方も笑顔になります。笑顔の連鎖ですね。

講座終了後、「楽しかった」とたくさん声をいただきました。これからも楽しい講座を定期的に関催していきたいと思っています。



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします